付録 A

A-1 用語説明 …… 360
A-2 特番一覧 …… 364
A-3 各種機能の初期設定値 …… 367
A-4 登録モード一覧表 …… 368
A-5 機能特番の一覧 …… 369
A-6 メロディー覧 …… 371
A-7 オートダイヤルボタン機能一覧表 …… 372
A-8 メニューショートカット一覧表 …… 377
A-9 機能メニュー一覧表
（デジタルコードレス電話機（DC）独自機能） …… 380

A-1 用語説明

英数字

ACR（LCR）
ダイヤルされた内容によって、最適なキャリア（通信網を提供している会社）を選択して発信できる機能。

DGL、DGL グループ（Direct Group Line）
着信の 1 つの形式で、内線を例えば組織ごとにグループ化し、発信者はそのグループを指定して発信することで、グループ内の内線すべてを呼び出せる機能。
着信は 1 つの DGL ボタンに先着順でキューイングされます。
※キューイングとは、着信を先着順に並べて管理する手法のこと。人間でいうと行列に相当します。

DSS（ボタン）内線 DSS（Direct Station Selection）
相手の内線電話をワンタッチのボタン操作で直接呼び出す機能のことです。オートダイヤルボタンに DSS 機能を割り付け、そのボタンに登録された内線をワンタッチで呼び出すことができます。割り付けたボタンのランプの状態で、相手の電話機が使用中かどうかを知ることができます。
参照：第 1 章の「オートダイヤルボタンに内線 DSS 機能を登録する」（➡ P.34）

DSS コンソール
➡集中受付装置（DSS）

MSA、MSA グループ（Multi-Station Access）
着信の 1 つの形式で、内線を例えば組織ごとにグループ化し、発信者はそのグループを指定して発信することで、グループ内の内線すべてを呼び出せる機能。着信は 1 つのボタンに対し 1 つ割り当てられます。MSA ボタンを使用して発信や保留もできます。いくつボタンを割り付けるかは、工事者が設定します。

SIP 電話機
SIP プロトコルに準拠した、VoIP 電話機。

VoIP
音声を IP プロトコル上に載せてパケットで通信するプロトコル。
VoIP 外線は、IP 電話サービスで通話できる外線のことで、例えば、ひかり電話などがあります。

Web 設定
Web ブラウザを使用して、各種の設定がユーザでできる機能。Web ブラウザでの設定はユーザが設定できるもののみになります。ログイン時のユーザレベル（一般ユーザレベル、システム管理者レベル）により、設定できる項目が異なります。

W 機能セット、W 機能特番
特番またはボタン操作で指定された 2 つのモードを同時に設定 / 解除ができる機能。

あ

一般系着信、一般着信
複数の電話機に同時に着信する着信方法の総称です。外線着信（一般系）、DGL/MSA 着信、などが該当します。

一般ユーザ電話機
一般ユーザレベルの操作が行える内線電話機。
システム管理電話機からサービスメニューで、電話機をシステム管理電話機に設定できます。また、システム管理電話機を一般ユーザ電話機に変更できます。

いらっしゃいまセンサ
いらっしゃいまセンサモードにすると、人感センサで来客を検知すると、電話機のディスプレイに「いらっしゃいませ」という表示や、外部機器からのガイダンス送出ができる機能。無人の受付などで利用します。
参照：『取扱説明書（セーフティ機能編）』

オフフック状態
電話機の受話器を電話機から上げた状態。

オンフック状態
電話機の受話器が電話機に置かれた状態。

か

会議通話
外線または内線で通話中に電話をかけ、他者を通話に加えて 3 人以上で同時に通話できる機能。会議通話には、最大 4 人まで参加できます。
参照：第 4 章の「会議通話を招集する（会議通話）」（➡ P.167）

外線 / 専用線シーケンス番号
テナントごとに外線に割り付けた番号のこと。

キーパッド
キーパッドモード
ISDN 外線と通話中にキーパッドファシリティ情報を外線に送出できる状態。
ボイスワープなどの登録で使用します。
参照 : 第 4 章の「迷惑電話お断りサービスを利用する」(➡ P.180)

共通メールボックス
テナントなどにくくりつけられた内蔵ボイスメールシステム用のメールボックスで、複数内線で共通に使用できます。主に、留守番機能で使用します。メールボックス番号は 4 桁までになります(➡内線メールボックスも参照)
参照 : 第 5 章の「ボイスメールのシステム概要」(➡ P.204)

クイックログオン
メールアクセス時、メールボックスを指定しないでアクセスできる機能。ログオン先のメールボックスがわかっている場合に適用される機能です。
メールボックスボタンを押した場合、メールボックスボタンに割り付けられたメールボックスにアクセスします。メールアクセス特番+メールボックス番号の操作をメールボックスボタンの 1 操作で実現できるため、クイックログオンと呼んでいます。

コールウェイティング
話中の内線にかけた場合、相手が空き状態になるまで待っていると、自動的に相手を呼び出す機能。

個別系着信、個別着信
一つの指定した電話機に着信する方法の総称。DIL、DID、内線着信などが相当します。

さ

サービスクラス
内線ごとに、どこまでの発信を許容するかを指定するデータ。

最終保留
一番最近に保留した呼(システム保留、パーク保留、自己保留、一時保留)のことをいう。最終保留された保留呼は続けて、発信操作をすることで着信した内線にダイヤル転送ができます。

システム管理電話機
システム全体(自テナント)に関連する操作が可能な内線電話機。
システム管理電話機からサービスメニューで、電話機をシステム管理電話機に設定できます。また、システム管理電話機を一般ユーザ電話機に変更できます。

自動選局
入力したダイヤルを分析して、発信できる外線を自動的に捕捉して発信する機能。

集中受付装置(DSS)
オートダイヤルボタンを増やすための装置。
参照 : 第 4 章の「集中受付装置(DSS)/ 状態表示盤(MBD)との接続」(➡ P.188)

専用線
企業で独占的に借りている回線のこと。

側音
受話器で通話中に自分の話した声が受話側に返ってくる音のこと。側音があることで、エコーを和らげる効果があります。

た

着信形式、
着信方式、
着信種別
外線からの着信に対して、どのような着信方法で着信させるかを指定した設定データ。
着信形式には、一般着信、DGL/MSA 着信、DIL 着信、着番号 DID、付加番号 DID、着信代行、i ナンバ、発番号 DID、モデムダイヤルインなどがあります。
着番号 DID の場合は着番号ごとに着信形式を指定します。

ですく deRSS
RSS サイトより RSS コンテンツ(新聞見出しなど)を取得して、多機能電話機のディスプレイにスクロールして表示する機能。
参照 : 第 4 章の「コンテンツ情報を電話機に表示する(ですく deRSS)」(➡ P.185)

テナント
電話機を運用する単位(例えば組織、店舗)で分けたグループのこと。
テナントに従うサービス:発信可能外線、着信可能外線、昼夜切替、祝祭日、留守番、自動外線転送(転送電話)

テナントグループ
複数のテナントをグループ化して、大きな運用単位を形成したグループのこと。
テナントグループに従うサービス:着信履歴、迷惑電話拒否、発信禁止番号

電話帳グループ
電話帳を0から 9 の 10 のグループに分けて使用できる機能のグループ番号。
共通電話帳をグループ分けして、用途の違う使いかたができます。
参照 : 第 1 章の「電話帳グループの登録」(➡ P.49)

特定日
テナントごとに運用によって休日と平日を設定できるもの。例えば会社の創立記念日や部門ごとに変動する夏季休暇などを休日として特定日設定できます。

特番

電話機から機能を指定する番号のこと。例えば、外線に発信する場合に一般的にダイヤルされる 0 も特番に相当します。内線番号も特番で指定します。

参照 :「A-2 特番一覧」(➡ P.364)

特番展開

サービスメニューや Web 設定の操作で番号を入力するとき、種別が「特番展開」になっている場合は、通常、特番を含めて番号を入力します。

な

内線グループ

内線代表や内線音声呼出などで使用するグループ。テナントとは別のグループを設定します。

内線メールボックス

内線にくくりつけられたメールボックスであり、メールボックス番号は内線番号と同じです(➡共通メールボックスも参照)。
代行時のメールボックスになります。また通話録音した場合のデフォルトのメールボックスになります。

参照 : 第 5 章の「ボイスメールのシステム概要」(➡ P.204)

ネスティング

電話帳の中に、別の電話帳番号を登録できる機能。

参照 : 第 3 章の「複数の電話帳メモリ番号を組み合わせて発信する(ネスティングダイヤル)」(➡ P.84)

乗り換え、外線乗り換え

現在通話中の呼を切断して、別の呼に乗り換える機能。

利用シーン :
外線と通話中に外線からの着信があり、現在の通話を終了して着信に応答しようとした場合、着信している外線ボタンを押すことで現在の通話を切断して、着信に応答できます。受話器をわざわざ戻す必要がありません。

は

ハウラ音

受話器を上げたまま放置した場合に受話器外れ状態を警告するために、受話器から送出される大きな音です。

パークシーケンス番号

パーク保留する際にパークボタンの番号をテナントごとに指定した番号。テナントが異なれば、同じシーケンス番号が指定できます。

利用シーン :
テナント 1 でパークトランク 001、002、003 を使用しそれぞれパークシーケンス番号を 000、001、002 とします。テナント 2 でパークトランク 004、005、006 を使用し、それぞれのパークシーケンス番号を 000、001、002 に割り当てます。
テナント 1 でもテナント 2 でもパークシーケンス保留特番 +000 の操作でテナント 1 ではパークトランク 001 にテナント 2 ではパークトランク 004 に保留できます。

パークトランク番号

システム全体のパーク保留(パークボタンに保留された呼)を識別する番号。保留をトランク(回線)と同じように見たてて管理する番号。

発番号通知、外線発番号通知

ISDN 外線に発番号を通知するかどうかを指定するデータ設定。「通知可」「不可」「網契約に従う」の 3 つの設定があります。「網契約に従う」(電話会社との契約に従う)の場合は、電話会社との契約に従った発番号(通知する / しない)を電話網が付けてくれます。

番号種別

オートダイヤルや電話帳に登録した番号がどんな番号であるかを、区別するもので、番号の登録と一緒に登録します。
例えば 123456 と登録された番号が市内番号なのか、専用線の番号なのか、PBX の内線の番号なのかは番号だけでは識別できないので、それを識別するために使用するものです。

秘話解除

電話機は通常 1 対 1 の通話で、他人が聞くことができない秘話モードになっています。秘話モードを解除することで、3 人以上で通話ができるようになります(多者通話)。
会議参加(最大 4 者)、または通話中に別の相手にダイヤルして会議通話(最大 4 者)を行うときに使用します。

参照 : 第 4 章の「外線通話中に他者を割り込ませる(外線秘話解除)」(➡ P.168)

プリセット

外線を捕捉してから発信するのではなく、あらかじめ番号を入力して番号がそろった所で発信する発信方法のこと。携帯電話での発信方法がこれにあたります。

フォローミー

自分の席の電話機にかかってくる内線を、移動先の内線に転送するように、移動先の電話機から登録することができる機能。

ボイスメール(機能)　相手のメールボックスに電話で音声のメッセージを送ることができる機能。
e-mail のように相手が不在のときもメッセージを送っておくこと(留守番機能、代行機能)や、一度に複数の人にメッセージを送ることもできます。その他にも、通話を録音したり(通話録音)、外出先から自分のメールボックスを確認する(留守リモコン)など便利な機能があります。

ボイスワープ　NTT アナログ /INS 外線の付加サービスの 1 つ。転送電話機能のこと。

方路(方路番号)　同一の網に接続された外線の束をグループ化したグループを方路といいます。またそのグループ番号を方路番号といいます。

設定例:
NTT 外線を方路 0、PBX 外線を方路 1、専用線を方路 2 とすることで、方路選局発信で NTT や PBX や専用線を区別して発信できます。

保留警報状態　保留状態(システム保留、パーク保留、自己保留、一時保留)が設定時間以上続いて、保留警告音が鳴っている状態。

ま

メールボックス用電話帳　共通電話帳の一部で、メールボックスを登録した電話帳のことをこのように呼びます。
通話録音などの録音先の指定として使用します。

利用シーン:
コールセンター業務で通話録音する際に、その録音内容を残すメールボックス(担当部署の指定のために)を電話帳から選択して指定する。

メニューショートカット　特定のメニュー機能に飛べるボタンのことで、オートダイヤルボタンに登録します。
頻繁に使うメニュー機能を登録しておくことで、面倒なメニュー操作が楽になります。

参照:「A-8 メニューショートカット一覧表」(➡ P.377)
「1-3 サービスメニューの使いかた」(➡ P.17)

モード　機能の有効 / 無効を操作によって切り替えたときの状態のこと。
例えば不在モードとは不在状態になっている状態を示します。

や

呼出音　電話をかけたときに自分に聞こえる呼び出し音のこと。
リングバックトーン(RBT:Ring Back Tone)

ら

留守番電話機　留守モニタができる電話機。テナント内に 1 台設定できます。

参照:第 5 章の「留守番機能」(➡ P.212)

留守番モニタ　留守番応答時、留守番電話機で留守の録音内容をモニタ(聴取)している状態。
留守番モニタ中に留守番電話機の受話器を上げると、留守番モニタしていた着信者と通話できます。
いわゆる家庭の留守番電話機能。

参照:第 5 章の「留守番モニタ(居留守応答)」(➡ P.218)

留守リモコン　外線から留守モードの設定 / 解除や留守録音された用件の再生 / 消去ができる機能。

参照:第 3 章の「外出先から留守番電話機能を利用する(留守リモコン)」(➡ P.129)

A-2 特番一覧

特番サービスを利用すると、オートダイヤルボタンのない電話機でも、以下のような機能を行うことができます。
特番は 1 ～ 3 桁の番号で設定されています。

工事設定

特番の初期値が設定されていない機能を利用する場合や、すでに設定されている特番の初期値を変更する場合には、工事設定が必要になります。詳しくは販売店にご相談ください。

呼種別 No.	特番名	初期値	付加データ	特番入力後に入力する情報
01	内線番号	S タイプ主装置: 10 ～ 39 [2 桁] M タイプ主装置: 200 ～ 499 [3 桁] L タイプ主装置: 2000 ～ 4999 [4 桁]	内線番号桁数(1 ～ 4)	–
02	閉番号	–	方路番号(0 ～ 63)、 閉番号桁数(1 ～ 4)	–
03	拡張内線番号	–	拡張内線番号桁数(1 ～ 4)	–
04	共通メールボックス番号(※)	S タイプ主装置: 50 ～ 59(2 桁) M/L タイプ主装置: 80 ～ 89(2 桁)	共通 MBX 番号桁数(1 ～ 8)	–
08	迂回閉番号	–	閉番号桁数(1 ～ 4)、 迂回グループ番号(0 ～ 29)	–
09	迂回方路選局	–	迂回グループ番号(0 ～ 29)	–
10	方路選局	–	方路番号(0 ～ 63)	–
11	固定選局	–	回線種別(1 ～ 3) 1:VoIP、 2:ひかり、 3:PHS	–
12	自動選局	0	–	–
13	指定外線捕捉	S タイプ主装置: 83 M/L タイプ主装置: 13	–	外線番号 / 専用線番号 (01 ～ 99、001 ～ 192)
14	指定 MSA 捕捉	–	MSA グループ番号 (00 ～ 99、000 ～ 254)、 および MSA シーケンス番号 (0 ～ 254)	–
15	リダイヤル	S タイプ主装置: 80 M/L タイプ主装置: 10	–	–
16	共通電話帳	6	–	電話帳メモリ番号 (0 ～ 10000)
17	個別電話帳	–	–	電話帳メモリ番号 (0 ～ 10000)

呼種別 No.	特番名	初期値	付加データ	特番入力後に入力する情報
19	パークシーケンス保留 / 応答	–	–	パークシーケンス番号 (000 ～ 127)
20	パーク保留 / 応答	S タイプ主装置: 84 M/L タイプ主装置: 14	–	パークトランク番号 (000 ～ 127)
21	代理応答	S タイプ主装置: 81 (全て) M/L タイプ主装置: 11 (全て)	0:全て、 1:内線のみ、 2:内線 + 専用線、 3:外線のみ	–
23	グループ指定代理応答	9 * (全て)	0:全て、 1:内線のみ、 2:内線 + 専用線、 3:外線のみ	代理応答グループ番号 (00 ～ 99)、 * (全グループ)、 # (自分の所属するグループ内)
24	集中着信	–	–	0: 解除 1: 登録
25	不在	–		不在理由を以下から選択。 0:解除、1:外出中、2:会議中、 3:来客中、4:食事中、 5:出張中、6:休暇中、 7:帰宅、8:直帰、 9:直行直帰
26	FAX 転送	99	–	–
27	DGL 呼数制限	–	–	0: 登録、1: 解除 + DGL グループ番号 (00 ～ 99、000 ～ 254)
28	最終保留応答	* 2	–	–
30	トーンオーバーライド (※)	–	–	–
31	フックフラッシュ送出	–	–	–
32	会議	–	–	–
33	内線割り込み通話	–	–	内線番号
39	緊急一斉呼出	–	–	–
40	内線グループ音声呼出	* 0 (外部スピーカ無し)	外部スピーカ無し、 外部スピーカ番号 (工事設定: 1 ～ 6)、全外部スピーカ	内線グループ番号 (0 ～ 127)、 * (全グループ)
42	内線グループ音声呼出応答	# 0	–	* (全グループ)、 内線グループ番号 (0 ～ 127)
43	外部スピーカ呼出	* 9	–	外部スピーカ番号 0: 一斉 (全スピーカ)、 M/L タイプ主装置の場合 :1 ～ 6、 S タイプ主装置の場合 :1 ～ 2
44	外部スピーカ応答	# 9	–	外部スピーカ番号 0: 一斉 (全スピーカ)、 M/L タイプ主装置の場合 :1 ～ 6、 S タイプ主装置の場合 :1 ～ 2

呼種別 No.	特番名	初期値	付加データ	特番入力後に入力する情報
45	DGL グループ呼出	–	–	DGL グループ番号 (00 ～ 99、000 ～ 254)
46	メールアクセス	91	–	–
47	ドアホンアクセス	98	–	ドアホン番号 0: 一斉(全ドアホン)、 M/L タイプ主装置の場合 :1 ～ 9、 S タイプ主装置の場合 :1 ～ 3
48	MSA グループ呼出(※)	–	–	MSA グループ番号 (00 ～ 99、000 ～ 254)
61	ウェイクアップコール	–	–	0: 解除 1: 登録 登録の場合 : 時刻 4 桁固定(0000 ～ 2359)
65	ハードフォン連携解除	–	–	–
73	音声非圧縮特番	–	–	–
74	転送リモコン(※)	92	–	–
75	留守リモコン(※)	93	–	–
76	セーフティリモコン	–	1. セーフティリモコン A 2. セーフティリモコン B	–
77	自動録音	–	–	自動録音モード 0 : 解除、1 : 設定
78	FMC 付加番号 DID 発信(※)	–	–	–

- (※) を付けた特番以外は、内線捕捉中に使用できる特番です。
- 共通メールボックス番号特番は、メールボックス指定時にのみ使用できます。
- トーンオーバーライド特番は、話中音 (ビジートーン) が聞こえているときに使用できます。
- 転送リモコンと留守リモコンは、SIP 専用線での付加番号 DID 着信時は無効な特番です。

A-3 各種機能の初期設定値

ここでは、特番サービスやオートダイヤルボタン以外の初期設定について、一覧でまとめて記載します。

機能名	初期設定値	操作説明の記載箇所
内線個別呼出（音声 / 信号）	トーン（信号）呼出	● 第 2 章の「内線番号をダイヤルしてかける（内線個別呼出（音声 / 信号））」（➡ P.67） ● 第 6 章の「内線番号をダイヤルしてかける（内線発信）」（➡ P.280） ● 第 7 章の「内線番号をダイヤルしてかける（内線発信）」（➡ P.302） ● 第 8 章の「内線番号をダイヤルしてかける（内線発信）」（➡ P.332）
ダイヤル転送	オンフックでの転送が可	● 第 2 章の「転送先と通話してから転送する（ダイヤル転送）」（➡ P.78） ● 第 6 章の「現在通話中の相手を内線通話後に転送する（ダイヤル転送）」（➡ P.291） ● 第 7 章の「転送先と通話してから転送する（ダイヤル転送）」（➡ P.309） ● 第 8 章の「現在通話中の相手を内線通話後に転送する（ダイヤル転送）」（➡ P.342）

A-4 登録モード一覧表

待受状態で、保 留を押すと、登録モードに入ることができます。
登録モードからの終了操作は、サービスメニューと同じです。スピーカを押すと待受画面に戻ります。

登録モードでは、以下の登録操作を行うことができます。

保 留のあとに押すボタン	登録操作	表示されるサービスメニュー画面	参照先など
ワ 0	オートダイヤルボタンへの機能の割付	「ファンクション割付」画面	「1-6 電話機への機能の登録」の「オートダイヤルボタンに機能を登録する」(➡ P.28)
ア 1	–	–	–
カ ABC 2	オートダイヤルボタンへの電話番号の割付(ワンタッチ割付)	「ワンタッチ割付」画面	「1-6 電話機への機能の登録」の「オートダイヤルボタンに電話番号を登録する(ワンタッチ割付)」(➡ P.31)
サ DEF 3	内線相手により着信音色がを区別するように設定	「内線別着信音種」画面	第 1 章の「着信音色の選択」(➡ P.55)
タ GHI 4	オートダイヤルボタンへのメールボックスの割付	「メールボックス割付」画面	「1-6 電話機への機能の登録」の「オートダイヤルボタンにメールボックスを登録する」(➡P.33)
ナ JKL 5	システムでの ACR の利用の有無を設定	「ACR 利用」画面 ※システム管理電話機のみ	–
ハ MNO 6	不在代行や留守番機能で利用する応答用ガイダンスの録音	「ユーザガイダンス指定」画面 ※システム管理電話機のみ	第4章の「代行や留守番の応答ガイダンスを録音する(ユーザガイダンス録音)」(➡ P.200) 「5-3 基本的な使いかた」(➡ P.212)
マ PQRS 7	内線名称の登録	システム管理電話機: 「内線対象指定」画面→「名称登録」画面 一般ユーザ電話機: 「名称登録」画面	待機時内線番号 / 名称表示 「1-6 電話機への機能の登録」の「内線名称の登録」(➡ P.35)
ヤ TUV 8	システム共通カレンダーの日時の変更	「日時変更」画面 ※システム管理電話機のみ	「1-5 カレンダー / 時計の設定」(➡ P.27)
ラ WXYZ 9	オートダイヤルボタンへの内線 DSS ボタンの割付	「DSS 割付」画面	「1-6 電話機への機能の登録」の「オートダイヤルボタンに内線DSS機能を登録する」(➡P.34)
#	外線または内線の収容位置の確認	「内線 / 外線収容位置」画面	内線の場合、指定した内線または自分の電話機の内線番号 / 端末番号 / 収容位置、端末種別を確認できます。 外線の場合、指定した□(外線)の収容位置を表示します。
短 縮	共通電話帳の登録	「メモリ番号指定」画面 ※システム管理電話機のみ	「1-7 電話帳の登録」の「登録先のメモリ番号を指定する」(➡ P.38)
機 能	登録モードのショートカットヘルプの表示(注)	–	–
□(共通電話帳)	共通電話帳の登録	システム管理電話機: 「メモリ番号指定」画面 ※一般ユーザ電話機では操作できません。	あらかじめ、□には、共通電話帳を割り付けておきます。 「1-7 電話帳の登録」の「登録先のメモリ番号を指定する」(➡ P.38)
□(個別電話帳)	個別電話帳の登録	システム管理電話機: 「内線番号入力」画面→「メモリ番号指定」画面 一般ユーザ電話機: 「メモリ番号指定」画面	あらかじめ、□には、個別電話帳を割り付けておきます。 「1-7 電話帳の登録」の「登録先のメモリ番号を指定する」(➡ P.38)
□(通話録音)	自動通話録音のオン / オフの切替	–	第5章の「自動で通話が録音されるように設定する(自動通話録音)」(➡ P.229)

(注)ショートカットヘルプは、多機能電話機のみ適用されます。

A-5 機能特番の一覧

[機能]を押したあとに、番号をダイヤルすることにより、各サービスを実行することができます。これを機能特番と呼びます。機能特番の番号は固定です。
通常の特番サービス（➡ P.364）とは違い、[機能]を押して操作するため、通話中でも入力が可能です。
また、機能特番を入力している途中で[機能]を押すと、機能特番の入力のキャンセルができます。

機能特番は、[機能]がない電話機（Bluetooth コードレス電話機（WSb）、デジタルコードレス電話機（DC）など）で利用する場合でも、オートダイヤルボタンに[　　]（機能）を割り付けることにより操作できます。また、オートダイヤルボタンにワンタッチダイヤルとして機能特番を登録することにより、ワンタッチボタンを押すだけで実行することができます。

機能特番の一覧は以下のとおりです。

機能特番の番号	機能名称	説明と参照先	備考
0	キーパッドファシリティ切替	キーパッドファシリティ送出モードをオンにすると、ISDN 回線通話中からのダイヤルをキーパッドファシリティとして送出することができます。 **参照：**第 4 章の「迷惑電話を拒否する」（➡ P.164）	※ ISDN 外線のみ
1	ハンズフリー応答の設定 / 解除（マイクのオン / オフ）	内線、外線 / 専用線通話時に受話器を使わずに電話機内蔵のマイクとスピーカで通話できるようになります。 **参照：**第３章の「受話器を置いたままで通話する（ハンズフリー通話）」（➡ P.98）	
2	送話ミュートの設定 / 解除	送話ミュートを設定することにより、受話器（ハンドセット）での通話時またはハンズフリー通話時の音声（送話）を通話相手に聞こえないようにすることができます。 **参照：**第 3 章の「通話相手にこちらの音声を聞こえないようにする（送話ミュート）」（➡ P.99）	
3	外線捕捉時表示番号の確認	外線との通話中に、この操作を行うと、捕捉している外線の外線捕捉自己番号が電話機のディスプレイに表示されます（外線捕捉自己番号を設定している場合のみ）。	
4	内線番号の確認	指定した内線または自分の電話機の内線番号 / 端末番号 / 収容位置、端末種別を電話機のディスプレイに表示して確認できます。	
60X	ドアロック指定解錠	ドアホン通話中、内線通話中、内線捕捉中にドアロックを開錠することができます。 **参照：**第 4 章の「電気錠を解錠する（ドアロックリリース）」（➡ P.192）	機能特番の番号の X には、以下の電気錠番号を入力できます。 M/L タイプ主装置の場合：1 ～ 9、 S タイプ主装置の場合：1 ～ 3
84	回線使用制限（外線話中設定）の設定 / 解除	回線を閉塞状態にすることにより、一時的に回線の使用を制限することができます。複数の電話機から同一の外線 / 専用線 /MSA ボタンに対して閉塞の設定 / 解除ができます（その場合はあとの操作を反映します）。 **参照：**第 4 章の「外線 / 専用線からの着信を一時的に制限する（回線使用制限）」（➡ P.172）	機能特番を押したあと、閉塞の設定 / 解除する回線のボタンを押します。
87XXX	DGL 一時呼数変更	指定した DGL グループの電話機に着信させる呼数を一時的に制限します。 **参照：**第４章の「DGL グループ電話機への着信呼数を制限する（DGL 呼数制限）」（➡ P.174）	XXX：000 ～ 254（DGL グループ番号）

機能特番の番号	機能名称	説明と参照先	備考
881X	【W 機能特番】 ・外線自動転送モード ・留守番モード	2 つの機能が登録できる機能特番です。この機能特番を操作することで、「外線自動転送モード」と「留守番モード」を一括でセット状態にすることができます。 またセット状態中に同操作を行うことで、解除状態にすることができます。 **参照 :** 第 3 章の「2 つの機能を 1 つの操作で設定できるようにする（W 機能セット）」（➡ P.142）	X：1 ～ 4（外線転送 1 ～ 4） ※多機能電話機のみ ※留守番電話機のみ
882XY	【W 機能特番】 ・外線自動転送モード ・手動夜間設定	2 つの機能が登録できる機能特番です。この機能特番を操作することで、「外線自動転送モード」と「手動夜間設定」を一括でセット状態にすることができます。 またセット状態中に同操作を行うことで、解除状態にすることができます。 **参照 :** 第 3 章の「2 つの機能を 1 つの操作で設定できるようにする（W 機能セット）」（➡ P.142）	X：1 ～ 4（外線転送 1 ～ 4） Y：1 ～ 5（1：昼間、2：夜間 A-1、3：夜間 A-2、4：夜間 A-3、5：夜間 B） ※多機能電話機のみ
883X	【W 機能特番】 ・留守番モード ・手動夜間設定	2 つの機能が登録できる機能特番です。この機能特番を操作することで、「留守番モード」と「手動夜間設定」を一括でセット状態にすることができます。 またセット状態中に同操作を行うことで、解除状態にすることができます。 **参照 :** 第 3 章の「2 つの機能を 1 つの操作で設定できるようにする（W 機能セット）」（➡ P.142）	X：1 ～ 5（1：昼間、2：夜間 A-1、3：夜間 A-2、4：夜間 A-3、5：夜間 B） ※多機能電話機のみ ※留守番電話機のみ
884X	【W 機能特番】 ・外線着信鳴動拒否設定 ・不在設定（不在モード）	2 つの機能が登録できる機能特番です。この機能特番を操作することで、「外線着信鳴動拒否設定」と「不在設定（不在モード）」を一括でセット状態にすることができます。 またセット状態中に同操作を行うことで、解除状態にすることができます。 **参照 :** 第 3 章の「2 つの機能を 1 つの操作で設定できるようにする（W 機能セット）」（➡ P.142）	X：1 ～ 9（不在理由 1 ～ 9） ※多機能電話機のみ
93X	BGM 放送の設定 / 解除	BGM 音源を接続して、電話機のスピーカから BGM を流すことができます。 BGM 放送の設定を ON にすると、内線が待機状態のときに BGM が流れます（各種着信鳴動中を除きます）。設定により、外部スピーカからも流すことができます **参照 :** 第 4 章の「外部音源との接続」（➡ P.195）	X：1 ～ 3（外部音源 1 ～ 3） ※多機能電話機のみ
98	緊急地震速報キャンセル	主装置に緊急地震速報配信システムを接続することにより、電話機のディスプレイおよび外部スピーカから緊急地震速報を確認することができます。 地震速報中にこの操作を行うことで、地震速報の表示とガイダンスをキャンセルして、平常の状態に戻すことができます。 **参照 :** 第 4 章の「緊急地震速報を受信する（緊急地震速報）」（➡ P.187）	
99	機能ランプ強制解除（機能セット一括削除）	電話機ごとに設定されている機能のうち、不在モード（不在転送）、外線着信鳴動拒否、子機サイレントを一括して解除できます。	※ SIP 電話機以外の電話機 ただし、「子機サイレント」は、カールコードレス電話機（CL）（子機）、Bluetooth コードレス電話機（WSb）（子機）のみ

A-6 メロディー覧

保留メロディー覧

No,	保留メロディ
1	愛の挨拶
2	さくら
3	夏を抱きしめて
4	秋桜
5	Everything
6	花
7	世界に一つだけの花
8	ニューヨーク・シティ・セレナーデ
9	組曲「惑星」の木星
10	カノン
11	ユーザーメロディ 1
12	ユーザーメロディ 2
13	ユーザーメロディ 3
14	ユーザーメロディ 4

着信メロディー覧

No,	着信メロディ
1	愛の挨拶
2	さくら
3	夏を抱きしめて
4	秋桜
5	Everything
6	花
7	世界に一つだけの花
8	ニューヨーク・シティ・セレナーデ
9	組曲「惑星」の木星
10	カノン
11	黒電話
12	ステーション
13	ハープ
14	朝
15	ネクストステージ
16	琴
17	ユーザーメロディ 1
18	ユーザーメロディ 2
19	ユーザーメロディ 3
20	ユーザーメロディ 4

A-7 オートダイヤルボタン機能一覧表

各電話機のオートダイヤルボタンに割付できる機能（機能種別番号と機能名）および付加情報は、以下のとおりです。

機能種別No	機能名
01	リダイヤル
02	電話帳
03	代理応答
04	指定代理応答
05	夜間切替
06	クラス切替
08	自己保留
09	着信ウェイト
10	留守番
12	不在
13	通話表示
14	会議
16	通話モニタ
17	PB 信号
18	キーパッド
21	発信
25	時刻アラーム
26	着信表示
28	ワン留守
29	通話録音

機能種別No	機能名
30	メールアクセス
31	録音終了
32	一時停止
33	録音転送
34	停電
35	拡張表示
36	着信拒否
37	コメント
38	外線転送
39	FAX
40	いらっしゃいまセンサ
41	警戒
45	緊急一斉呼出
46	送話ミュート
47	サイレント
48	子機サイレント
49	マイク
50	電話帳ワンタッチ
51	ワンタッチボタン
52	DSS

機能種別No	機能名
53	メールボックス
54	ホテル管理※ 1
55	集中着信
59	DGL 呼数制限
60	機能
61	フラッシュ
62	W 機能（外線自動転送＆留守録）
63	W 機能（外線時号転送＆手動夜間設定）
64	W 機能（留守番＆手動夜間設定）
65	W 機能（着信鳴動拒否＆不在モード）
66	外線 / 専用線
67	ドアホン
68	DGL
69	MSA
70	方路発信
71	応答
72	パーク
74	メニューショートカット

※ 1　M/L タイプのみ割付可能

機能種別No.	機能名	付加情報 1	範囲	付加情報 2	範囲	備考
01	リダイヤル	—	—	—	—	
02	電話帳	電話帳種別（個別 / 共通）	1：共通電話帳 2：個別電話帳	—	—	初期設定で割付済（デジタルコードレス電話機（DC）のみ）。
03	代理応答	応答種別	1：全て 2：内線のみ 3：内線 + 専用線 4：外線のみ	—	—	代理応答グループ内の着信を代理応答。 初期設定で割付済（デジタルコードレス電話機（DC）のみ）
04	指定代理応答	応答種別	1：全て 2：内線のみ 3：内線 + 専用線 4：外線のみ	—	—	指定した代理応答グループ内の着信を代理応答（本ボタンを押したあとにグループ番号をダイヤル）
05	夜間切替	テナント番号	00 ～ 99	ワンタッチ切替	1; なし 2：夜間 A-1 3：夜間 A-2 4：夜間 A-3 5：夜間 B	

機能種別No.	機能名	付加情報 1	範囲	付加情報 2	範囲	備考
06	クラス切替	—	—	—	—	
07	—	—	—	—	—	
08	自己保留	—	—	—	—	初期設定で割付済（デジタルコードレス電話機（DC）、カールコードレス電話機（CL）（子機）、Bluetooth コードレス電話機（WSb）（子機）を除く）
09	着信ウェイト	—	—	—	—	
10	留守番	テナント番号	00 ～ 99	—	—	
11	—	—	—	—	—	
12	不在	—	—	—	—	
13	通話表示	—	—	—	—	
14	会議	—	—	—	—	
16	通話モニタ	—	—	—	—	
17	PB 信号	—	—	—	—	
18	キーパッド	—	—	—	—	
19	—	—	—	—	—	
20	—	—	—	—	—	
21	発信	—	—	—	—	
22	—	—	—	—	—	
23	—	—	—	—	—	
24	—	—	—	—	—	
25	時刻アラーム	—	—	—	—	多機能電話機のみ割付可能
26	着信表示	—	—	—	—	
27	—	—	—	—	—	
28	ワン留守	—	—	—	—	ワンショット留守番機能を起動する
29	通話録音	—	—	—	—	通話録音を開始する。通話録音中に押すと通話録音を取り消す。
30	メールアクセス	—	—	—	—	メールアクセスする
31	録音終了	—	—	—	—	通話録音を終了する
32	一時停止	—	—	—	—	通話メモ録音を一時停止する
33	録音転送	—	—	—	—	録音転送を実施する
34	停電	—	—	—	—	デジタルコードレス電話機（DC）は割付不可
35	拡張表示	—	—	—	—	発着歴の桁あふれ表示用
36	着信拒否	—	—	—	—	

機能種別No.	機能名	付加情報 1	範囲	付加情報 2	範囲	備考
37	コメント	コメント番号	1 ～ 20	—	—	録音中に押すことで録音メッセージにタイトルかコメントを登録可能
38	外線転送	外線転送モード	1 ～ 4	テナント番号	00 ～ 99	デジタルコードレス電話機(DC)は割付不可
39	FAX	FAX 番号(FAX1/FAX2)	1、2	—	—	ＦＡＸへの着信の有無を表示
40	いらっしゃいまセンサ	いらっしゃいまセンサグループ	1:いらっしゃいまセンサ A 2:いらっしゃいまセンサ B	—	—	いらっしゃいまセンサA /いらっしゃいまセンサBのモード設定 / 解除。 デジタルコードレス電話機(DC)は割付不可
41	警戒	セーフティグループ	1:警戒 A 2:警戒 B	—	—	セーフティ A/ セーフティBのモード設定 / 解除。 デジタルコードレス電話機(DC)は割付不可
42	—	—	—	—	—	
43	—	—	—	—	—	
44	—	—	—	—	—	
45	緊急一斉呼出	—	—	—	—	デジタルコードレス電話機(DC)は割付不可
46	送話ミュート	—	—	—	—	
47	サイレント	—	—	—	—	多機能電話機のみ割付可能
48	子機サイレント	—	—	—	—	カールコードレス電話機(CL)(子機)、Bluetooth コードレス電話機(WSb)(子機)のみ割付可能
49	マイク	—	—	—	—	デジタルコードレス電話機(DC)は割付不可
50	電話帳ワンタッチ	電話帳種別(個別 / 共通)		(電話帳メモリ番号)		[ファンクション割付]メニューではなく、[電話帳ワンタッチ割付]メニューで登録します(➡ P.30)
51	ワンタッチボタン	ダイヤル情報最大３２桁(※) ※ネスティング入力可		(番号種別)		[ファンクション割付]メニューではなく、[ワンタッチ割付]メニューで登録します(➡ P.31)
52	DSS	内線番号最大４桁	0000 ～ 9999	—	—	[ファンクション割付]メニューではなく、[DSS 割付]メニューで登録します(➡P.34)

機能種別No.	機能名	付加情報 1	範囲	付加情報 2	範囲	備考
53	メールボックス	共通内線番号(1 ～ 4桁)	0000 ～ 9999	表示種別	1:詳細 2:一覧	メールアクセスする(クイックログオン) メールアクセス / クイックメッセージ録音でメールボックス番号を指定する [ファンクション割付]メニューではなく、[メールボックス割付]メニューで登録します(➡ P.33)
54	ホテル管理	1:チェックイン 2: チェックアウト 3:清掃開始 4:清掃完了 5:点検完了 6:外出 7:在室 8:ウェイクアップコール 9:メッセージウェイティング 10:客室情報表示 11:故障 12:ルームチェンジ	0 ～ 20(予備含む)	—	—	デジタルコードレス電話機(DC)は割付不可 販売店による工事設定のみ可能
55	集中着信	—	—	—	—	
56	—	—	—	—	—	
57	—	—	—	—	—	
58	—	—	—	—	—	
59	DGL 呼数制限	DGL グループ番号	00 ～ 99/ 000 ～ 254	—	—	
60	機能	—	—	—	—	
61	フラッシュ	—	—	—	—	
62	W 機能(外線自動転送&留守録)	外線転送モード	1 ～ 4	—	—	
63	W 機能(外線自動転送&手動夜間設定)	外線転送モード	1 ～ 4	夜間モード	1:夜間 A-1 2:夜間 A-2 3:夜間 A-3 4:夜間 B	
64	W 機能(留守番&手動夜間設定)	夜間モード	1:夜間 A-1 2:夜間 A-2 3:夜間 A-3 4:夜間 B	—	—	
65	W 機能(着信鳴動拒否&不在モード)	不在理由	1 ～ 9	—	—	
66	外線 / 専用線	外線番号(回線 / 仮想 SC)	01.00～24.99/ 40.00～41.99			販売店による工事設定のみ可能。 外線ボタンは、初期設定で割付済
67	ドアホン	ドアホン番号	1 ～ 9(M/L タイプ主装置の場合)、 1 ～ 3(S タイプ主装置の場合)			販売店による工事設定のみ可能
68	DGL	DGL グループ番号	000 ～ 254			販売店による工事設定のみ可能

機能種別No.	機能名	付加情報 1	範囲	付加情報 2	範囲	備考
69	MSA	MSA グループ番号	000 ～ 254	シーケンス番号	000 ～ 254	販売店による工事設定のみ可能
70	方路発信	方路番号	00 ～ 63	—	—	販売店による工事設定のみ可能
71	応答	方路指定	0：指定無し、1：指定有り	(方路指定有りのときだけ)方路番号	00 ～ 63	販売店による工事設定のみ可能
72	パーク	パーク番号	000 ～ 127			パーク保留 / 保留応答する。 販売店による工事設定のみ可能。
73	—	—		—		—
74	メニューショートカット					サービスメニューからのみ割付可能
75	—	—		—		—

A-8 メニューショートカット一覧表

オートダイヤルボタンにメニューショートカットを登録しておくと、待機中にメニューショートカットボタンを押すことで、そのボタンに登録された任意のメニュー画面を 1 操作で表示することができ、メニュー操作の各階層をショートカットで起動することができます。
ここでは、メニューショートカットに登録できるメニュー画面について、一覧でまとめてあります。

■ メニューショートカットボタンを割り付けるには

サービスメニューの画面が表示されているときに、機能を押したあと、未登録のオートダイヤルボタンを押します。表示中のメニュー画面をメニューショートカットボタンとして割付けることができます。

■ メニューショートカットに登録できるメニュー画面

：システム管理電話機でのみ操作可能（一般ユーザ電話機では操作できない）項目

注意

システム管理電話機でメニューショートカットボタンを登録したあと、その電話機を一般ユーザ電話機に変更した場合は、システム管理電話機でのみ操作可能なメニューを登録したメニューショートカットボタンはエラーになります。

メニュー階層1	メニュー階層2	メニュー階層3
1. 履歴（発信 / 着信）	1. 発信履歴	−
	2. 共通着信履歴	−
	3. 個別着信履歴	−
2. 電話帳	1. 新規登録	1. 共通電話帳
		2. 個別電話帳
	2. 一覧表示	1. 共通電話帳一覧
		2. 個別電話帳一覧
	3. 番号検索	1. 共通電話帳
		2. 個別電話帳
	4. 電話帳グループ	1. 共通電話帳
		2. 個別電話帳
3. 内線一覧	1. 一覧表示	−
	2. 内線検索	−
4. 転送設定	1. 不在転送設定	−
	2. 話中転送設定	−
	3. 無応答転送設定	−
	4. 圏外転送設定	−
	5. 外線転送設定	−
	6.DGL 無応答転送設定	−
	7.MSA 無応答転送設定	−
	8. 一般無応答転送設定	−
	9. 転送リモコン用暗証番号	−
5. 録音関連設定	1. 留守番設定	−
	2. メールボックス録音通知設定	−
	3. メッセージの一括削除	−
	4. メールボックス暗証番号	−
	5. ボイスメール属性	−

メニュー階層1	メニュー階層2	メニュー階層3
6. オートダイヤル	1. ファンクション割付	−
	2. メールボックス割付	−
	3.DSS 割付	−
	4. ワンタッチ割付	−
	5. 電話帳ワンタッチ割付	−
	6. 割付クリア	−
7. 応答ガイダンス管理	1. 転送元ガイダンス設定	−
	2. 転送先ガイダンス設定	−
	3. ユーザガイダンス管理	−
8. 音設定	1. 着信音量	1. 外線着信音量
		2. 内線着信音量
		3. ドアホン着信音量
		4. 話中着信音量
	2. ハンドセット受話音量	−
	3. スピーカ受話音量	−
	4. メロディ設定	−
	5. ボタン押下音設定	−
	6. 側音量	−
	7. 各種音種	1. 外線別着信音種
		2. 内線別着信音種
		3. 話中着信音設定
		4. 標準保留音種
9. 表示設定	1. 着信ランプ	1. 外線一般系着信
		2. 外線個別着信
		3. 専用線着信
		4. 内線着信
		5. ドアホン着信
		6. 録音表示
		7. 時刻アラーム
		8.FAX 着信
		9. 不応答着信
	2. 履歴表示設定	1. 発信履歴
		2. 着信履歴
	3. 表示形式設定	1. 着信表示設定
		2. 待機表示設定
		3. 時刻表示設定
		4. 表示文字設定
		5.LCD コントラスト調整
		6.LCD バックライト設定
0. その他	1. システム情報	1. システムバージョン確認
		2. 内外線収容位置表示
	2. システム設定	1. システム管理電話機設定
		2.ACR 利用
		3. 全電話機アラーム解除
		4. 理由表示設定
		5. 迷惑電話番号
		6. 発信禁止番号
		7.FAX 設定

メニュー階層1	メニュー階層2	メニュー階層3
0. その他	3. カレンダー / 時計設定	1. 日時変更
		2. 祝祭日登録
		3. 特定日登録
		4. 休日パターン
	4. 電話機	1. 外線着信鳴動拒否設定
		2. ハンズフリー応答設定
		3. 時刻アラーム
		4. ヘッドセット接続設定
		5. 子機サイレント設定 ※カールコードレス電話機(CL)(子機)、Bluetooth コードレス電話機(WSb)(子機)のみ
	5. ネットワーク	1. 主装置
		2. IPST
		3. SIPT
		4. その他 IP
		5. IPHO
		6. IPKD
		7. BRGI
		8. IPVMLC
	6. セーフティ設定	1. セーフティグループ A
		2. セーフティグループ B
		3. 威嚇音設定
	7. 名称設定	1DGL グループ名称
		2MSA グループ名称
		3 テナント名称
		4 ドアホン名称
		5 外部スピーカ名称
		6 リレー名称
		7 外部センサ名称
		8 メールボックス名称
	8. コンテンツ設定	1. ですく deRSS 利用設定
		2. コンテンツ表示
	9. 手動バックアップ	−

A-9 機能メニュー一覧表(デジタルコードレス電話機(DC)独自機能)

デジタルコードレス電話機(DC)では、待受状態で確定を押すと、機能メニューが表示されます。
機能メニューから機能番号を選ぶことで、電話機独自の各種機能の設定 / 変更することができます。
操作の詳細は、第 8 章の「機能メニューを利用する」(➡ P.348)を参照してください。

項目番号	項　目	内　容	お買い上げ時の設定
0	自局番号表示		
0	自局番号表示	公衆、会社 1 ～ 8 の自局番号を表示します。	（登録なし）
1	発信モード		
1 0	発信モード確認	現在の発信モードを表示します。	－
1 1	自営発信モード	自営発信モードを設定します。	会社 1 モード
1 1 0	自動	会社 1 ～ 8 を切り替える機能(1 面待ち)	－
1 1 1	会社 1	会社 1 の 1 面待ちに設定します。	－
1 1 2	会社 2	この機能は使用できません。	－
1 1 3	会社 3		
1 1 4	会社 4		
1 1 5	会社 5		
1 1 6	会社 6		
1 1 7	会社 7		
1 1 8	会社 8		
1 2	トランシーバモード	この機能は使用できません。	－
1 1 1	トランシーバ 1		
1 1 2	トランシーバ 2		
1 1 3	トランシーバ 3		
1 1 4	トランシーバ 4		
1 1 5	トランシーバ 5		
1 1 6	トランシーバ 6		
1 1 7	トランシーバ 7		
1 1 8	トランシーバ 8		
1 3	公衆発信モード	この機能は使用できません。	－
1 4	2 面モード(公衆優先)	この機能は使用できません。	－
1 4 1	会社 1、公衆モード	この機能は使用できません。	－
1 4 2	会社 2、公衆モード	この機能は使用できません。	－
1 4 3	会社 3、公衆モード		
1 4 4	会社 4、公衆モード		
1 4 5	会社 5、公衆モード		
1 4 6	会社 6、公衆モード		
1 4 7	会社 7、公衆モード		
1 4 8	会社 8、公衆モード		
1 5	2 面モード(自営優先)	この機能は使用できません。	－
1 5 1	公衆、会社 1 モード	この機能は使用できません。	－
1 5 2	公衆、会社 2 モード	この機能は使用できません。	－
1 5 3	公衆、会社 3 モード		
1 5 4	公衆、会社 4 モード		
1 5 5	公衆、会社 5 モード		
1 5 6	公衆、会社 6 モード		
1 5 7	公衆、会社 7 モード		
1 5 8	公衆、会社 8 モード		

項目番号	項　目	内　容	お買い上げ時の設定
2	パスワードロック		
2	パスワードロック	パスワードロックを設定できます。	ロック解除
3	動作モード		
3 0	動作モード選択	通常・マナー・ユーザーの３種類	通常
3 1	通常モード動作設定	通常動作モードを設定します。	－
3 1 1	着信音量	切・小・中・大・漸増の５段階	中
3 1 2	バイブレータ	切・入	切
3 1 3	キータッチトーン	キー操作時の確認音（切・入）	入
3 1 4	受話音量	小・中・大の３段階	大
3 1 5	メール送達確認音	切・入	入
3 2	マナーモード動作設定	マナーモードを設定します。	－
3 2 1	着信音量	切・小・中・大・漸増の５段階	切
3 2 2	バイブレータ	入・切	入
3 2 3	キータッチトーン	キー操作時の確認音（切・入）	切
3 2 4	受話音量	小・中・大の３段階	中
3 2 5	メール送達確認音	入・切	切
3 3	ユーザーモード動作設定	ユーザーモードを設定します。	－
3 3 1	着信音量	切・小・中・大・漸増の５段階	大
3 3 2	バイブレータ	入・切	入
3 3 3	キータッチトーン	キー操作時の確認音（切・入）	入
3 3 4	受話音量	小・中・大の３段階	大
3 3 5	メール送達確認音	入・切	入
3 4	着信音色設定	16 種類の鳴動音を選択できます。	－
3 4 1	会社外線	会社外線の鳴動音を設定します。	1
3 4 2	会社内線	会社内線の鳴動音を設定します。	2
3 4 3	トランシーバ	この機能は使用できません。	－
3 4 4	公衆	公衆の鳴動音を設定します。	5
3 4 5	メール着信音	メール着信音の鳴動音を設定します。	3
3 5	リレー着信設定	バイブレータと着信音を時間差で起動する機能を設定します。	切
3 6	着信自動応答回数	この機能は使用できません。	－
3 7	外線一般着信設定	この機能は使用できません。	－
3 8	付加ダイヤル設定	発信時に使用する付加ダイヤルを登録します。 （例：184、186、0 発信）	（登録なし）
4	キー機能		
4 1	ファンクションボタン設定	会社モードでファンクションボタンをワンタッチダイヤルとして使用するときに設定します。	－
4 1 1	システム（8Line）	Ｆ１～Ｆ８をファンクションボタンで使用します。	初期設定
4 1 2	システム（6Line）	Ｆ１～Ｆ６をファンクションボタン、Ｆ７、Ｆ８をワンタッチダイヤルで使用します。	－
4 1 3	ワンタッチ	Ｆ１～Ｆ８をワンタッチダイヤルで使用します。	－
4 2	ワンタッチダイヤル設定 （Ｆ１～Ｆ８）	ワンタッチダイヤルの電話番号、名前を設定します。	－
4 3	短縮キーモード設定	会社モードでシステムの短縮ダイヤルあるいは電話機のローカル電話帳のいずれかのモードを設定します。（電話帳ボタンの操作時）	ローカル

項目番号			項　目	内　容	お買い上げ時の設定
5			電話帳機能		
5	1		新規登録	400 件までの電話帳を登録します。 電話番号 1：32 桁までのダイヤル 電話番号 2：32 桁までのダイヤル 名前：全角 8 文字（半角 16 文字）までの名前 読み仮名：カタカナ 12 文字までの読み仮名	（登録なし）
5	2		初期表示設定	電話帳モードを起動したときに名前検索か、メモリ番号検索のいずれかのモードを設定します。	名前検索
5	3		全件削除	全ての電話帳を削除します。	－
6			公衆機能設定		
6	1		非通知着信拒否設定	この機能は使用できません。	－
6	1	1	通知不可能	この機能は使用できません。	許可
6	1	2	ユーザー非通知	この機能は使用できません。	許可
6	1	3	公衆電話発信	この機能は使用できません。	許可
6	2		指定着信拒否	この機能は使用できません。	（登録なし）
6	3		発番号通知設定	この機能は使用できません。	通知する
6	4		分計発信	この機能は使用できません。	－
6	5		安全運転モード設定	この機能は使用できません。	－
6	5	1	ネットワーク応答録音無	この機能は使用できません。	初期設定
6	5	2	ネットワーク応答録音有	この機能は使用できません。	－
6	5	3	電話機応答録音無	この機能は使用できません。	－
6	5	4	電話機応答録音有	この機能は使用できません。	－
6	6		録音メッセージ	この機能は使用できません。	－
7			未使用		
8			保守機能		
8	1		パスワード設定	パスワードロックおよび全設定初期化に使用するパスワードを設定します。	0000
8	2		LCD 設定	LCD 設定 LCD 各種設定を行います。	－
8	2	1	LCD コントラスト	LCD コントラスト LCD コントラストを調節します。	中
8	2	2	LCD バックライト点灯時間	0 ～ 60 秒で設定可能	10 秒
8	2	3	LCD 表示サイズ	LCD 表示サイズ電話帳操作時に表示する文字サイズを大・小から選択できます。	小
8	3		未使用	－	－
8	4		圏外警告音設定	圏外警告音設定設定時に圏外になったときの警告音の有無を設定します。	入
8	5		アラーム機能	アラーム機能各種アラームを設定します。	－
8	5	0	カレンダー時刻設定	カレンダー時刻設定年・月・日・時・分を設定します。	2007 年 1 月 1 日 00 時 00 分 月曜日
8	5	1	アラーム 1 設定	アラーム 1 設定設定時刻にアラームを鳴動します。	00 時 00 分 切
8	5	2	アラーム 2 設定	アラーム 2 設定設定時刻にアラームを鳴動します。	00 時 00 分 切
8	6		マイネーム	この機能は使用できません。	（設定なし）
8	9		完全消去＋初期化	完全消去＋初期化機能モード内の全設定データおよび発着信履歴、電話帳、メール送受信データを工場出荷状態に戻します。	－
9			履歴管理		
9	1		発信履歴表示	発信履歴表示 20 件までの発信を記憶し、履歴情報からリダイヤルまたは電話帳への登録ができます。	－
9	2		着信履歴表示	着信履歴表示 20 件までの着信を記憶し、履歴情報から発信または電話帳への登録ができます。	－

付録 B

B-1 故障かな？とお考えになる前に …… 384

B-1 故障かな？とお考えになる前に

こんなとき	お確かめください
多機能電話機、カールコードレス電話機（CL）（親機）	
すべての電話機の表示が消えている。 またはランプが点灯しない。	● 主装置の電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか。
電話機の表示が消えている。 またはランプが点灯しない。	● 電話機コードのモジュラープラグが外れていませんか。
電話機の［機能］のランプが消えなくなった。	● 誤って機能が登録されている可能性があります。機能セット一括解除の操作を行って解除してください。（➡ P.385）
電話機の表示が消えている。 または黒く表示されている。	● コントラストがかすれていませんか。 ● コントラスト調整を行ってください。（➡ P.15） ● 誤動作防止機能が働いていませんか。（➡ P.386）
カールコードレス電話機（CL）（子機）、Bluetooth コードレス電話機（WSb）（子機）	
子機がまったく作動しない。	● 電池残量が少なくありませんか。（➡ P.257） ● 誤動作防止機能が働いていませんか。（➡ P.386）
子機から着信音が鳴らない。	● 着信音量が「OFF」になっていませんか。（➡P.259）（表示部に「S」マークが付いていませんか（➡ P.249）） ● 親機と離れすぎていませんか。（➡ P.253）
子機で［通話］を押すとエラー音が聞こえる。	● 親機の電話機コードのモジュラープラグが外れていませんか。 ● 親機と離れすぎていませんか。（➡ P.253） ● 子機を他の電話機の近くに置いていませんか。（➡ P.252）
子機を充電器に置いても、充電器の充電ランプが点灯しない。	● 充電端子が汚れていませんか。（➡ P.257） ● 充電器の AC アダプタが電源コンセントから外れていませんか。（➡ P.256）
デジタルコードレス電話機（DC）	
まったく動作しない。	● 電源は入っていますか。（➡ P.323） ● 電池パックは充分に充電されていますか。また、AC アダプタが充電器または電源コンセントから抜けていませんか。（➡ P.322） ● 電池パックは正しく取り付けられていますか。（➡ P.320） ● 電池パックは消耗していませんか。（➡ P.320） ● 誤動作防止機能が働いていませんか。（➡ P.386）
電話がかけられない。 または、着信音が鳴らない。	● 電池パックは充分に充電されていますか。（➡ P.322） ● 接続装置から離れすぎていたり、表示部に「圏外」と表示されていませんか。（➡ P.323） ● 近くに雑音を発生する機器がありませんか。 ● 着信音が鳴らないように設定されていませんか。（➡ P.324） ● 発信モードが正しく設定されていますか。（➡ P.349） ● 接続装置の電話機コードが正しく接続され電源と通話のランプが正常に点灯または点滅していますか。（➡ P.316）
通話が時々とぎれる。	● 接続装置から離れすぎていませんか。（➡ P.323） ● 近くに雑音を発生する機器がありませんか。また、接続装置との間に電波をさえぎる障害物はありませんか。 ● アンテナの向きを変えたり、場所を移動すると良くなりませんか。
充電中に充電ランプが点灯しない。	● 子機や充電器の充電端子が汚れていませんか。（➡ P.322） ● AC アダプタが充電または電源コンセントから抜けていませんか。（➡ P.322）

こんなとき	お確かめください
規定時間以上充電しても使用できない。	● 子機や充電器の充電端子が汚れていませんか。（➡ P.322） ● AC アダプタが充電または電源コンセントから抜けていませんか。（➡ P.322） ● 電池パックが寿命になっていませんか。（➡ P.320）
発信や着信応答の操作ができない。	● アンテナの表示が消灯していませんか。消灯している場合は、点灯を待ってから、もう一度操作してください。 ● キーロックが設定されていませんか。（➡ P.349） ● パスワードが設定されていませんか。（➡ P.353）

MEMO

デジタルコードレス電話機（DC）での注意事項について

- プリセット発信時、ダイヤルを押しているときに着信があると、電話番号の表示が消え、ボタンの入力を受け付けなくなり発信ができなくなります。着信に応答するか、空いている外線ボタンを押したあとにダイヤルを入力して発信してください。
- 電話を切った直後の場合は発信できないことがありますが、そのときは、アンテナが表示されていることを確認してからかけ直してください。
- 外線着信時、他の電話機とほぼ同時に応答すると、外線ランプが一瞬緑点滅して、赤点灯になります。

機能ランプをリセットするには

外線着信鳴動拒否、不在設定、不在転送などの設定で、機能ランプが点灯したままになることがあります。
そのような場合は、機能ランプのリセットを行ってください。
機能ランプをリセットすると、各電話機に設定されている外線着信鳴動拒否、不在設定、不在転送のすべてが解除されます。
機能ランプをリセットするには、機能特番「機能セット一括解除」を利用します。機能特番については、「A-5 機能特番の一覧」（➡ P.369）を参照してください。

1 **機能を押す**

待受状態または通話中でも使用できます。
機能ランプは点灯（赤）します。

2 **ラ WXYZ 9 ラ WXYZ 9を押す**

≪機能ランプ強制解除≫

機能ランプが点滅（赤）します。

3 **機能を押す**

≪機能ランプ強制解除≫
解除しました

機能ランプが消灯します。
しばらくすると、待受画面に戻ります。

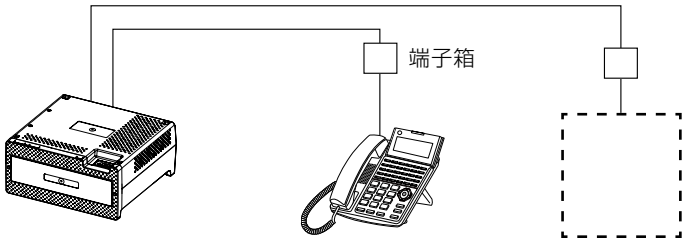
MEMO

- オートダイヤルボタンにワンタッチダイヤルとして機能特番 99 を登録することにより、ワンタッチボタンを押すだけで実行することができます。
- 機能がない電話機（Bluetooth コードレス電話機（WSb）、デジタルコードレス電話機（DC）など）で利用する場合でも、オートダイヤルボタンに（機能）を割り付けることにより操作できます。

誤動作防止機能について

端子箱に一定時間（※ 1）電話機が接続されていないと、誤動作防止機能が自動的に働きます。
この機能が働くと、内線電話機への給電が停止されるため、内線電話機を端子箱に接続しても動作しません。
内線電話機をご使用になりたいときは、主装置の電源スイッチをいったん切るか、他の電話機から解除操作を行ってください。

※ 1：電源スイッチを入れてから約 24 時間または、電話機を端子箱から外して 24 時間以上経過すると誤動作防止機能が働きます。



MEMO

誤動作防止機能が自動的に働くのは、多機能電話機、カールコードレス電話機（CL）、Bluetooth コードレス電話機（WSb）、デジタルコードレス電話機（DC）です。

誤動作防止機能を解除するには（給電停止中の内線電話機の給電を開始するには）

内線一覧または詳細画面で内線を選択して、給電停止中の内線電話機の給電を開始することができます。

1 **内線一覧または詳細画面で、内線名称を登録 / 修正したい内線を選択して、確定を押す**

内線一覧または詳細画面の表示については、「内線一覧/詳細画面を表示する」（➡P.149）を参照してください。

```
≪内線一覧≫
内線 10  ：山田太郎
内線 11  ?佐藤部長
内線 12  X鈴木
```

2 **で［4：子機給電］を選択して、確定を押す**

```
内線 10
山田太郎
3名称削除
4子機給電
```

3 **で［＊：はい］を選択して、確定を押す**

```
≪子機給電≫
給電を開始しますか？
1いいえ
＊はい
```

MEMO

- ここでの「子機」は、主装置に接続されている内線電話機です。
- 誤動作防止機能の解除の操作ができるのは、多機能電話機、カールコードレス電話機（CL）、Bluetooth コードレス電話機（WSb）、デジタルコードレス電話機（DC）です。
- 以下のような場合は子機給電開始時にエラーになり、電話機のディスプレイに「電話機給電できません」と表示されます。
  ①既に給電中の内線を選択した場合（既に給電 ON 中）
  ②対象となる電話機（上記）以外を選択した場合（給電対象外内線）
  ③省エネモード中に給電開始操作を行った場合（省エネ給電 OFF 中）
  ④バッテリ給電中に給電開始操作を行った場合（バッテリ給電 OFF 中）